

日刊 動労千葉

86.11.26

No. 2415

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五〇六（公衆）〇四七二二二七二〇七

開始された動労と労からの偉大な決起を突破口に 全国総反撃をさしひらこう

法案強行弾劾、分割・民営化絶対反対 11・30国鉄労働者全国交流集会 「さしひらこう」

いま、国鉄法案の衆議院通過、十一月「ダイヤ改正」強行という重大な局面に突入する中で、動労千葉は、「国鉄法案強行弾劾、分割・民営化絶対反対、十一月三〇国鉄労働者全国交流集会」を開催することを決定し、全国のたたかう国鉄労働者に十一月三〇集会への総結集を心より訴える。

裏切り・逃亡を開始した
国労内「労使共同宣言」派

国鉄分割・民営化阻止の闘いは、国鉄法案の衆議院通過、十一月「ダイヤ改正」強行という状況の下で新たな段階をむかえている。政府・国鉄当局は、十万人首切りにむけた差別・選別の攻撃をいつきに強めている。

政府・国鉄当局は、国労や動労千葉を根こそぎ解体するため動労革マル・松崎や、いまや全面的な裏切りと逃亡を開始した国労内「労使共同宣言」派を使った組織破壊攻撃を強めている。

「国鉄法案」たった九日間で、
五十八時間のデタラメ 審議

十月二十八日、中曽根は、わずか九日間、それも五十八時間という短期間で、ろくな審議もなのまま国鉄法案の衆議院通過を強行した。

しかし、アリバイ的国会審議は、逆に分割・民営化の矛盾と凶暴な本質を明らかにしたものとした。われわれは、法案が国会で決まったからといって国鉄労働者十万人の首切りや、国鉄労働運動破壊、ローカル線切り捨てや増税、資産ぶんどりを許すことなど絶対にできない。

旅客会社の労働条件はどうなるのか、清算会社の扱いはどうなるのか、退職金は、年金は、……何もわかっていない。

さらに、長期債務問題など何ひとつ解決されてない。

「新会社」の設立委員・社長は、財界幹部と大企業の社長

何よりも、これまで新会社の設立委員、社長候補人事としてあがっている面々をみてみよ。第二臨調・行革審メンバーの瀬島龍三、国鉄再建監理委員会の亀井正夫、関西経済連合会会長の日向方斎など名だたる大独占のボスどもであり、二百兆円もの国鉄資産をぶんどろうというのである。それもただ同然で握りしめようというものだから、国鉄労働者と国民の怒りを買うのは当然だ。だからこそ、暴力的強行にうってでてきている。

動労からの決起がはじまった——闘いはこれから

動労千葉は、法案阻止、十万人首切りのための十一月「ダイヤ改」粉碎にむけ、二波にわたる順法闘争を闘いぬいた。

国労の仲間たちも「労使共同宣言」の道を拒否し、ハンスト、すわりこみ、デモで全国で反撃の闘いを開始している。

中曽根・杉浦の手先となった動労の中から十一月十七日高崎で四名、十九日、水戸で三八名の仲間が奴隷の道を拒否し、たたかう新労組を結成した。まさに闘いはこれからだ。十一月三〇に総結集しよう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！